

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	グループホーム のぞみ		
サービス種別	認知症対応型共同生活介護		
所在地	横浜市港北区日吉本町6-66-3		
担当者	齋藤 南	連絡先	045-560-6312
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和6年9月25日 15時45分 ~ 16時00分	場所	オンライン開催
----	---------------------------	----	---------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	
■■■■■	地域住民の代表者	日吉本町西地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 歯科医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 薬剤師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 薬剤師
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下田地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	高田地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	日吉本町地域ケアプラザ ■■■■■

4. 活動状況報告

別紙(様式3)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1. 事故について

- ①包括： 事故報告の仕方。運営推進会議で口頭での発表について行政報告を絞ったのは何故か。
- ②薬剤師： 新しい職員が沢山入ってきているのは良いこと。自分たち薬局もそうだが、新任者には段取りをきちっと正確に伝えて間違えのないような形を繰り返しやっていくことが、1件でも事故やヒヤリハットを減らしていくためには必要だと思う。
- ③医師： ヒヤリハットを出すことは大事。ヒヤリハットについて検討することも大事。しかし、インシデントが(結局)アクシデントになっているケースもあると感じられる。もう少し真剣に取り組まないと責任問題になる。意識レベルを高めないとダメという印象。専門家の先生の意見もしっかり聞いて、対応を一緒に考えていただきたい。

2. 地域との関わりについて

民生委員： 日頃、グループホームとの関わりがないため、今回会議に参加して、利用者様との関わりを色々工夫されているなど拝見した。
盆祭りに参加されていることを知らなかった。知っていれば皆さんとお話できたと思うと残念。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

1. 事故について

- (1) 報告の仕方： 委員の方から意見をいただく時間を十分取りたい。報告書自体の記載を分かりやすくすることで補うようにした。また、怪我やすべての事故を防ぎえないことを踏まえて、重要と思われるものに絞って発表し、皆さんの意見を求めるようにしていく。
- (2) 事故を減らす取り組み：
- ・新任者への対応(②の意見)：
本社オリエンテーション後、現場オリエンテーションを実施している。
オリエンテーションやOJTについての問題点がないか、具体的に検討できるようにしていく。
 - ・職員の事故に対する意識レベルの問題(③の意見)：
今年度9月から、職員への1対1研修で「福祉サービスにおけるリスクマネジメント」(全3回)を実施している。 個々のレベルに応じた研修で職員の意識改革を目指す。
 - ・専門家を巻き込んだ事故防止の検討(③の意見)：
毎月事故防止委員会を社内内で実施しているが、誤薬に絞って薬剤師の方の意見をいただくなどの取り組みについても検討する。

2. 地域との関わりについて

- ・施設を知ってくださっている方も多くなっており、今後も地域へ出かけての活動を行っていく。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

- ・薬の不足について(歯科医師より質問)： 施設等で必要な薬がないようなことがあるか。
⇒(薬剤師)薬によっては足りていない物もあるが、薬の状況については薬局で把握しており、医師に処方の変更をお願いする形で対応。場合により他の薬局を紹介することもあるが、完全にどこからも入ってこないということはないのでご相談いただきたい。
- ・地域の方より(看護)小規模多機能施設とグループホームの違いについて質問あり。説明を行った。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(認知症対応型共同生活介護)

1. 基本情報

事業所名	グループホーム のぞみ		
所在地	横浜市港北区日吉本町6-66-3		
担当者	齋藤 南	連絡先	045-560-6312
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(8月31日現在)	女性	8名	男性	1名	計	9名
---------------	----	----	----	----	---	----

要介護度(平均3.3)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	1名	1名	2名	4名	1名

3. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念: その人らしく生きる~その一瞬を大切に~ 今年度目標: 「その人らしく生きる」を支え寄り添う介護を行う
目標に向けた 具体的取組	【事業所のしつらえ・環境】 ・自立支援を促す環境作り 【事業所と地域のかかわり】 ・外出の機会を設ける ・地域と関わる機会を設ける 【業務・職員について】 ・認知症ケアの知識・技術の向上 ・働きやすい環境作り、業務効率化

4. 活動報告

○社内研修 ジョブメドレーアカデミー(eラーニング) 7月...身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修 8月...介護現場できをつけたいプライバシー保護
○社外研修 7/19 高田地域ケアプラザ 高齢者虐待に関する研修 職員1名参加 7/24 市進教育グループ主催 管理者研修 管理者1名参加 7/30 ウィリング横浜 対人援助技術研修 職員1名参加
○行事 6/28 食事レク 7/16 7月生まれの方のお誕生日会 7/20 日吉本町西町内会納涼祭 7/30 絵葉書教室 8/5 8月生まれの方のお誕生日会 8/29 のぞみ納涼祭 毎月第2土曜日 フラワーアレンジメント 毎月第3土曜日 移動販売パン屋さん(エッセン)

5. 健康管理

毎朝、体温、血圧測定を行う他、普段と違った様子はないかを観察し、食事量や排せつ等に変化がないかを確認しながら、医師や看護師と連携して対応しています。また、手摺り消毒や定期的な換気も継続して行っております。

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	<p>事故 1件(行政報告1件)</p> <p>①落薬 7/10(18:00) 夜勤者が床清掃中に洗濯機の下に薬が落ちているのを発見する。 表記が溶けており、また大きさが一致する薬が見当たらず入居者の特定できず。</p> <p>ヒヤリハット 21件</p> <p>①異食の可能性(9件) ②転倒・転落の危険性(3件) ③服薬事故のリスク(3件) ④食事時のむせ込む ⑤皮下出血 ⑤怪我のリスク ⑨入居者の軟膏を居室に落としていた。 ⑩センサーマットの設置忘れ</p>
改善策	<p>事故</p> <p>①【原因】 服薬介助の方法についての統一ができていなかった。 服薬介助時は飲み込みまで確認することとなっていたが確認が不十分であった。 食事用エプロンを片付ける際に落薬に気が付かなかった。</p> <p>【対策】 入居者ごとに服薬介助の方法を見直しをし、統一をすることとした。 服薬介助後は飲み込みが出来たか口腔内の確認をすることを再度徹底する。 食事用エプロンを回収する際は残差物の確認を行う事とした。</p>

7. 地域への情報提供

【第2回運営推進会議】7/22消防訓練を兼ねて開催しました。
【小さな夏祭り】8/4.18は施設の駐車場で地域の子供たちにむけた小規模の縁日を開催しました。
【その他】7/7職員1名が町内会の公園清掃に参加しました。10月の公園清掃にも参加したいと思っております。
また、9/28の町内会の防災訓練にも参加予定です。

8. その他特記事項

(職員の入退職・異動等)

7/1 職員1名 小規模多機能施設めぐみより異動
8/1 職員1名 入職